



株式会社ビジネス・ブレイクスルー(BBT)
BUSINESS BREAKTHROUGH, INC.

Newsletter Vol.6

2018/9/25発行

CONTENTS:

BBTグループのインターナショナルスクールニュース特集

- ◆資料:国際バカロレア(IB)とは? p.2
- ◆リカレント教育プログラムのBBTが運営するインターナショナルスクールのニュース
 - 1. アオバジャパン・インターナショナルスクール(AJIS)主催
学内外の生徒・保護者対象の大学進学フェア
～国内10大学、海外8大学が参加～ p.3
 - 2. アオバジャパン・インターナショナルスクール(AJIS)主催
「グローバル教育に関するシンポジウム」 p.4
 - 3. Summerhill International School
国際バカロレア 初等教育プログラム(PYP)認定校に決定 p.5
 - 4. アオバジャパン・インターナショナルスクール(AJIS)の教諭が講演
国際バカロレアDPカリキュラム「TOK(知の理論)」授業研究セミナーの実施 p.6

【BBTについて】

グローバル環境で活躍できる人材の育成を目的として1998年に世界的経営コンサルタント大前研一により設立された教育会社。設立当初から革新的な遠隔教育システムによる双方向性を確保した質の高い教育の提供を目指し、多様な配信メディアを通じてマネジメント教育プログラムを提供。大学、大学院、起業家養成プログラム、ビジネス英語や経営者のための勉強会等多様な教育プログラムを運営するほか、法人研修の提供やTV番組の制作など様々な顔を持つ。2013年10月のアオバジャパン・インターナショナルスクールへの経営参加を契機に、生涯の学習をサポートするプラットフォーム構築をグループ戦略の柱の1つとして明確に位置づけている。在籍会員数約1万人、輩出人数はのべ約5万人以上。

<http://www.bbt757.com/>

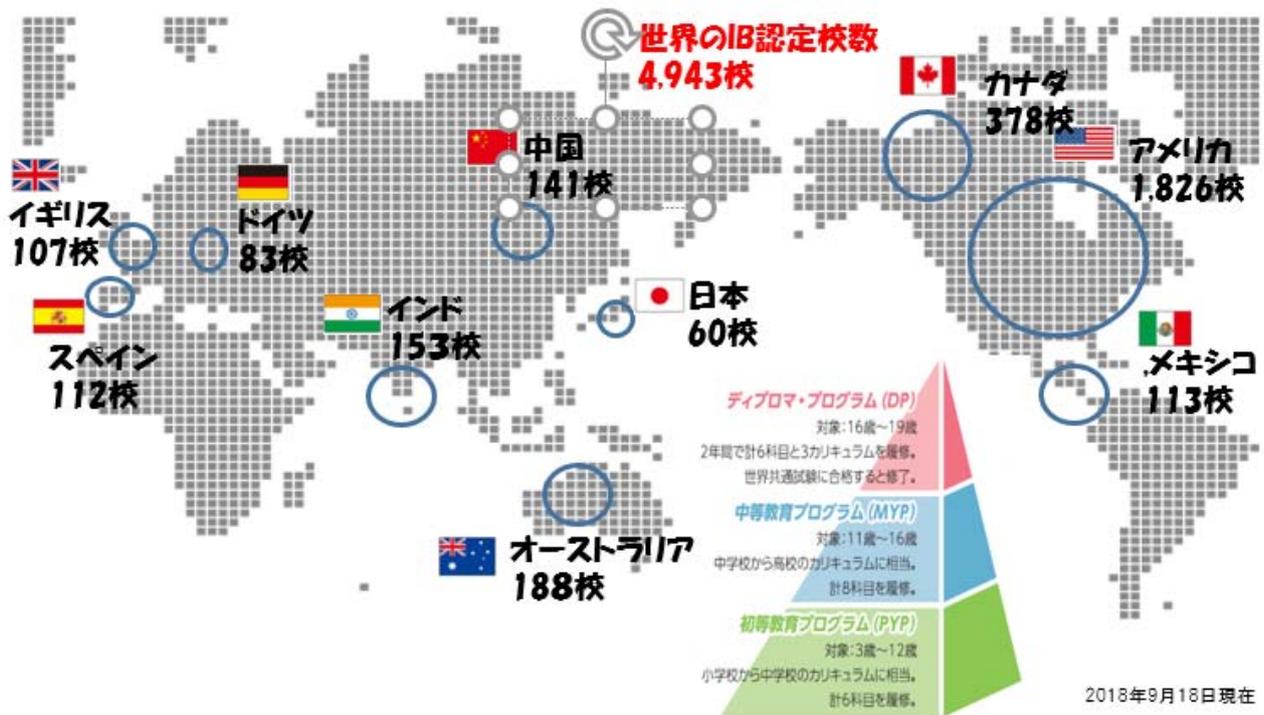
—本件に関するお問い合わせ先—
株式会社ビジネス・ブレイクスルー 広報担当 吉田
TEL:03-6271-0757 FAX:03-3265-1381
E-mail: bbt-pr@bbt757.com

国際バカロレア(IB)とは？

国際バカロレア機構(本部ジュネーブ)が提供する国際的な教育プログラムである国際バカロレア(IB:International Baccalaureate)は、1968年、チャレンジに満ちた総合的な教育プログラムとして、世界の複雑さを理解して、そのことに対応できる生徒を育成し、生徒に対し、未来へ責任ある行動をとるための態度とスキルを身に付けさせるとともに、国際的に通用する大学入学資格(国際バカロレア資格)を与え、大学進学へのルートを確保することを目的として設置されました。(参考:[文部科学省HP](http://www.mext.go.jp))

◆3歳～19歳までを対象とした、世界で注目されている教育プログラム

国際的な視野を持った人材を育成するため、生徒の年齢に応じた教育プログラムを提供しています。以下の図のように、世界中でIBの認定校が増加しており、注目を集めていると言えます。



◆教科書の無い探究型の学習で身につく国際力

✓ グローバル社会で活躍できる力が身につく

教科の枠にとらわれずに学ぶことや、自分で考え自分の判断で行動することなど、IBプログラムにはグループ・ディスカッションをはじめとした独特な授業を通じて、グローバルに活躍するための力を養うことができる要素が含まれています。

✓ 世界各国の大学で、正規の受験・入学資格に

DPの認定証書は、世界中の大学で入学資格や受験資格として認められており、国内のみならず海外の大学に進学したい人にとっても大きな機会です。

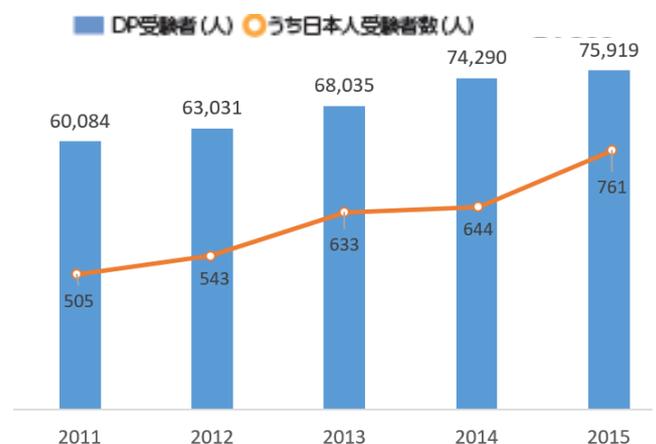
◆日本の動きと今後のトレンド

✓ 「IB認定校200校計画」を閣議決定

政府は「日本再興戦略」(平成25年6月閣議決定)に基づき、国際バカロレア認定校等を2020年度までに200校以上に増加させることを目指しており、今後全国で導入が進むとされています。

✓ 認定校・受験者数ともに増加中

▼国際バカロレア資格取得状況 ※2



✓ 法人や学校でも採用・合格基準に

日本経済団体連合会(日経連)が、企業の人事におけるIBの適切な評価を促すコメントを出したほか、一部の大学入試でも活用が始まっています。

※1 参照元: <https://www.ibo.org/about-the-ib/facts-and-figures/>

※2 文部科学省「国際バカロレア資格の取得状況」

アオバジャパン・インターナショナルスクール(AJIS)主催 学内外の生徒・保護者対象の大学進学フェア ～国内10大学、海外8大学が参加～

アオバジャパン・インターナショナルスクール(以下、アオバ)は、本校の中高生、及び他のIB校をはじめとするグローバル教育に力を入れている学校の進路指導担当教諭・生徒・保護者を対象とした大学進学説明会「Choose Japan College Fair 2018」を、2018年2月23日(金)光が丘キャンパス(練馬区光が丘7-5-1)にて開催いたしました。

アオバは、国内でも数少ない国際バカロレア(IB)一貫校として、幼稚部から高等部までの児童生徒に対し世界標準の教育を提供しています。その目的は、国際的な視野と思いやりの精神を持ち、互いに協調して学ぶことに喜びを感じ、リスクを恐れず新たな事にチャレンジする事を通じて、世界をポジティブな方向に導くことのできる人材の育成です。

今般、本学の中高生に自身の進路を具体的に考えてもらう機会を作ると共に、他校の生徒もこうした機会を活用してもらいたいと考え、アオバにて大学進学説明会を実施する運びとなりました。各大学からは、特色のある入試制度、国際バカロレア入試や英語による学位プログラム等についてご案内いただきました。

【参加大学】※順不同

国内大学

- ・Hosei University(法政大学)
- ・International Christian University(国際基督教大学)
- ・Ritsumeikan Asia Pacific University(立命館アジア太平洋大学)
- ・Aizu University(会津大学)
- ・Business Breakthrough University(ビジネスブレイクスルー大学)
- ・Temple University Japan Campus(テンプル大学)
- ・Soka University(創価大学)
- ・Tsuru-Bunka-University(都留文科大学)
- ・Yamanashi-Gakuin-University(山梨学院大学)
- ・Ritsumeikan University(立命館大学)

海外大学

- ・University of Oxford(オックスフォード大学)
- ・The University of Melbourne(メルボルン大学)
- ・The University of Sydney(シドニー大学)
- ・United International Business School(ユナイテッドインターナショナルビジネススクール)
- ・Swiss Education Group(スイスエデュケーショングループ)
- ・Glion Institute of Higher Education(グリオン大学)
- ・les Roches Global Hospitality Education(レ・ロレッシュ大学)
- ・The University of Queensland(クイーンズランド大学)

大学進学説明会当日の様子



日本国内の国際的な教育に力を入れている大学をはじめ、海外各国の大学関係者らがイベントに参加し、進路相談会が実施されました。アオバの生徒はもちろんのこと、他校からも招待された生徒らが来場し、多種多様な大学や専門学校のブースで情報収集や将来に向けての相談が盛んに行われていました。



アオバの生徒は、できるだけ保護者と共に説明会に参加するよう推奨されていました。そのため、生徒にとってこのフェアは、国内外の進学について家族と共に将来への選択肢について知り、具体的に考える絶好の機会となりました。

アオバジャパン・インターナショナルスクール(AJIS)主催 「グローバル教育に関するシンポジウム」

アオバは、教師・研究者・教育に携わる関係者ならびに地域コミュニティにおける市民が、今後の日本における教育の望ましい在り方について考える教育シンポジウム「Issues in Global Education」を2018年4月28日(土)～4月30日(月・祝)に光が丘キャンパス(練馬区光が丘7-5-1)にて開催いたしました。

今回は、現代的な教育課題に対して関心を持つ方々に参加いただき、6つの教育テーマについての深い議論を通じて、今後の望ましい教育の在り方について皆様と共に考えていただく機会を提供いたしました。

シンポジウムにおける教育テーマならびに登壇者

1. 日本におけるグローバル教育-Global Education in Japan
(久保敦氏：立命館宇治中学校・高等学校)
2. 未来のための学習環境の構築-Building the future Learning Environments
(ケン・セル氏/ポール・フラダーレ氏：アオバジャパン・インターナショナルスクール)
3. グローバル社会に対応した教員養成-Teacher Education for a Global World
(山辺恵理子氏：都留文科大学)
4. 望ましいコミュニケーションとコラボレーションの構築-Making Networks Work
(武藤哲司氏：ぐんま国際アカデミー)
5. 教育システムの変革-Transforming Education Systems
(平井達也氏立命館アジア太平洋大学
/ロバート・ソーン氏：アオバ・ジャパンインターナショナルスクール)
6. 高等教育と仕事・生活バランスの変容を最大限に引き出す
-Maximizing the Transition between higher education, work and life
(ダッタ・シャミ氏東京学芸大学/ポール・ロー氏：アオバジャパン・インターナショナルスクール)



シンポジウム当日の様子



シンポジウム当日は、国内外から教職員や教育に携わる専門家が集い、グローバル教育における経験談の情報交換や問題解決に向けての意見交換が行われ、有意義なディスカッションが展開されました。

“Issues in Global Education”は、日本の教育および、世界の教育にも目を向けて、教職員、教育研究者や教育機関の指導者など、教育に携わるコミュニティ全体が研究成果や実体験をもとに、情報交換をしていける機会を設けることが目的で実施されています。アオバは今後もこのようなカンファレンスを通じた教育活動を続け、日本と世界の教育発展に貢献していきます。

Summerhill International School

国際バカロレア 初等教育プログラム(PYP)認定校に決定

BBTグループであるSummerhill International株式会社(所在地:東京都港区、代表取締役:柴田巖)の運営するサマーヒルインターナショナルスクール (Summerhill International School、以下SH)が、2018年5月14日をもって、国際バカロレア初等教育プログラム(PYP)の認定校として承認されました。



サマーヒルインターナショナルスクール (SH) とは



東京都港区麻布エリアにおいて通算50年以上の歴史をもつSHは、1歳から6歳までを対象に英語によるグローバル教育に早くから取り組んでいます。その教育理念である「Play-based Learning(遊びの中から学ぶ)」に基づき、20カ国以上の国籍の生徒が集う国際的でありながらも、人間味溢れるアット・ホームな環境下で、英語・他の語学教育や世界の文化体験等に加え、知育・体育・情操教育等バランスのとれたカリキュラムを提供し、未来のグローバル人材を多く輩出してきました。

今後のBBTグループとしての取り組み

今後BBTグループは、AJSをはじめとするグループ校のIB教育のノウハウをプラットフォーム化し、グローバル教育に関心を持つ教育機関と共有する事により、国内のIB教育の普及と教育のグローバル化を支援したいと考えています。また、文部科学省が推進する国内のIB認定校を200校に増加する施策の一助になればと考えます。そのために、上記プラットフォームを活用してIB認定を目指す教育機関の教員に必要な教育や支援を行い、IB認定校増に貢献していく所存です。BBTはこうした活動を通じて、教育におけるポジティブな変革を実現する事を目指しています。

BBTグループが運営するその他のスクール

他のグループ校もIBの導入を進めており、グループ全体で未来のグローバルリーダー育成を目指しています。



アオバジャパン・インターナショナルスクール

光が丘キャンパス (練馬区光が丘)

PYP, MYP, DP 認定校

目黒キャンパス (目黒区青葉台)

PYP 認定校

1976年に目黒区青葉台で開校したインターナショナルスクールのアオバは、日本語クラス以外の授業はすべて英語で行われるなど、国際バカロレアのカリキュラムに積極的に参加できるようになるための英語サポートプログラムが充実しています。幼稚園から高校までの全ての課程において北米および国際水準のカリキュラムを提供し、卒業生は世界中の大学への出願資格が得られます。さらに、アオバは CIS(カウンスル オブ インターナショナル スクールズ)および NEASC(ニューイングランド アソシエーション オブ スクールズ アンド カレッジズ)の認証も受けています。また、国際バカロレア機構(IBO)より国際バカロレア(IB)DP(高等部)、MYP(中等部)、PYP(初等部・幼稚部)の認定校として承認されており、すべての課程においてIB教育を提供しています。



アオバジャパン・バイリンガルプリスクール

晴海キャンパス (中央区晴海)

PYP 認定校

芝浦キャンパス (港区芝浦)

PYP 認定校

早稲田キャンパス (新宿区高田馬場)

PYP 候補校

三鷹キャンパス (東京都三鷹市)

PYP 候補校

1歳から年長生までを対象に日英バイリンガル教育を実践するプリスクール。2016年8月に新宿区に新規開校。発達段階に応じたテーマを「探究→行動→振り返り」のサイクルで深めていく探究型学習を軸としたプログラムを行っている。子どもたちの可能性を拓く体育・水泳・音楽・リトミック・ダンス等の専門プログラムも時間内に行っている。

アオバジャパン・インターナショナルスクール(AJIS)の教諭が講演 国際バカロレアDPカリキュラム「TOK(知の理論)」授業研究セミナーの実施

アオバの小澤大心教諭が、立命館一貫教育部とアオバの共催で行われた、国際バカロレア(IB)ディプロマプログラム(DP)のカリキュラムの中核である「TOK(Theory of knowledge/知の理論)」授業研究セミナーに登壇いたしました。

本セミナーは2018年6月30日(土)に立命館大学大阪いばらきキャンパスで開催され、登壇した小澤教諭は「TOKの授業の作り方について(学習の導入提案)」をテーマに、IB教育の導入を目指す学校関係者や企業団体らに対し講演を行いました。

国際バカロレアDPカリキュラム「TOK(知の理論)」とは?

国際的な大学受験資格として広く知られる国際バカロレア(IB)とは、スイスを本部とする国際バカロレア機構(IBO)が、インターナショナルスクールの卒業生に国際的に認められる大学入学資格を与えるために1968年に発足した教育プログラムです。3歳~19歳を対象とし、年齢に応じた3つのプログラムで構成され、急速にグローバル化が進む現代社会に求められる主体性や、自ら考え判断する力を習得するよう設計されています。IB認定校を卒業しディプロマプログラム(DP)学位を取得した学生は、日本を含む世界の主要な大学の受験資格を得ることができます。

そのディプロマプログラム(DP)の中核であるTOK(知の理論)は、特定の知識を身につけるのではなく、Critical Thinking(批判的思考)を培って「知るプロセス」を探究するカリキュラムです。具体的には、「知識に関する主張」(knowledge claim)を分析し、「知識に関する問い」(knowledge question)を探究するよう生徒に働きかけていきます。そして、私たちが「知っている」と主張することを、いったいどのようにして知ることができるかを考察します。

(例)

「知識に関する主張」=知識についての言明

「私(たち)はXのことを知っている」

「私(たち)はYのやり方を知っている」など

「知識に関する問い」=知識についてのオープンな問い

「Xの証拠であると見なされるものは何か。」

「Yという科目で、有効な説明と見なされるための要因は何か。」など

TOKは「知識の本質」について考える機会を生徒にもたらしことから、DPのなかでも特別な役割を担います。TOKとDPの各科目は、学習のプロセスで互いの内容を照らし合わせ、共通の目標を目指しています。※2

文部科学省がグローバル人材育成の観点から日本におけるIBの普及・拡大を推進していることなど学力観の転換が求められる中で、IB認定校であるかに関わらずTOKの手法を取り入れた授業や教材については日本の教育者が関心を寄せています。今回開催されたセミナーでは、TOKの教科横断的な学びについての特別講演やIB認定校及び一条校における授業での実践内容など、AJISの教諭が講演した内容を含む5つのテーマ・講義が約130名の教育関係者に向けて展開されました。

【講義】TOKの授業の作り方について(学習の導入提案)

登壇者: 小澤 大心<おざわ こころ>氏 (アオバジャパン・インターナショナルスクール教諭)

<内容抜粋>

1. 21世紀の知識基盤社会におけるTOKへの期待
2. 育成すべき資質・能力の3つの柱
3. 学びのサイクル
4. コア科目であるTOKの重要性
5. TOKの分析の下地とその狙い
6. TOKにおける4つのキーワード
7. TOK授業づくりの視点



小澤教諭の講義に耳を傾ける教育関係者たち

- TOKの導入として、実生活の中にある身近な物事に対して疑問を持つことから始め、その疑問を探究していくことで、更に次の探究につなげた学びの形を確立していくことが重要と説いた。
- 実際の導入手法として、東京五輪や国の財政についてなど、日々のニュースで見聞きするトピックでワークショップを行い、TOKにおける探究学習の切り開き方をセミナー参加者に実体験させる形で講演を行った。
- TOKを活用することで、「物事の本質を探究する」という学習により「21世紀を生き抜く力」を養って欲しいと締めくくった

※1 文部科学省「国際バカロレアについて」http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/ib/

※2 「知の理論(TOK)指導の手引き」 <https://www.ibo.org/contentassets/93f68f8b322141c9b113fb3e3fe11659/tok-guide-jp.pdf>